



R I 会長 レイ・クリンギンスミス

第2790地区ガバナー

織田 吉郎

第5分区ガバナー補佐

佐野 昭雄

第5分区幹事

鈴木 照夫

第2790地区地区委員

広報・IT委員会

勝浦RC 千葉 正徳

クラブ研修委員会

館山RC 川名 光俊

環境委員会

館山RC 吉田 政紀

R財団寄付金小委員会

鴨川RC 伊藤 正人

勝浦ロータリークラブ

会長 関 一憲

幹事 中村 満

クラブ会報委員長 渡邊 ヒロ子

副委員長 渡邊 昌俊

委員 牧野 利美

前田 安彦

関 正夫

斎藤 麻美子

4月15日(金)のプログラム

- ・ 関正巳
会長エレクト P E T S 報告

本日(4/15)のプログラム

- ・ 4/22(金) 会員卓話

今後の例会プログラム

- ・ 4/29(金) 祝日のため休会

4/24(日) 地区協議会

会長挨拶 関一憲会長

「想定外」というブラック・スワン

白鳥と言えば白ですよ。しかし、オーストラリアには、黒い白鳥がいました。白鳥は白という常識は覆ってしまったのです。

アメリカは同時多発テロ以降「テロという目に見えない敵」と闘う恐怖の時代に突入した事は、皆さんご存知の通りです。

東日本大震災で、日本はいつ何処で起こるか分からない大地震や大津波。原発安全神話の崩壊と、放射能拡散の恐怖。災害時の生活インフラの崩壊と、燃料・食料の欠乏。などの、目に見えない恐怖と戦う時代に入ったのかもしれない。

今回の東日本大震災をめぐる報道や専門家の中で良く使われていた言葉が【想定外】です。意外かも知れませんが、そもそも【想定外】という言葉自体が辞書にのっていない言葉だそうです。

日本近海ではM8.5以上の地震は起きないと考えられてきました。マグニチュードが1増えると、地震のエネルギーは約32倍になります。2増えれば、32×32倍で約1000倍になります。東日本大震災M9のエネルギーは、関東大震災(M7.9)の45倍に相当する巨大なものでした。まさに想定外です。

本日 関正己会長エレクトのP E T S 報告ですが、私が報告してから、もう1年過ぎたのかと思うと本当に時間のたつのは早いですね。私が勝浦ロータリークラブの会長をさせていただいていることも、私の中では想定外でした。しかしながら、皆さんの支えのおかげで何とかここまでたどりつけました。あと2ヶ月半ですが、さらにご指導をお願い致します。そして、しっかりとバトンをつないでいこうと思います。

幹事報告 中村満幹事

ロータリー情報研究会より各14区分の報告書がCDできています。

成田ロータリークラブ様からご出席登録された皆様に案内状がきています。

登録者は関会長、鈴木覚、岩瀬、古川会員です。

館山RC様の例会記念が今月17日(土)にあります。

当日9時に旧市民会館から出発しますので宜しくお願いします



ニコニコBOX (石井美香子親睦委員)

本人誕生日 君塚七郎 君

77歳になりました。喜寿、喜ばしい歳のはずですが、震災があつて1ヶ月、喜ばしいとは言えませんね。早く明るくなって欲しいものです。今ここに來る時に東京国税局からFAXが入り、中国からの連絡で関東甲信越と東北圏の酒を含む食品は輸出禁止という文書がありました。自粛ムードで、地元での売上げも止まっており、大変影響が出ております。どうぞ飲んでください。



配偶者誕生日 関 君

いろいろバタバタして忘れていました。日を改めてお祝いしたいと思います。



自主申告 斎藤麻美子 君

物資を集める際は、急なお願いだったにも係らず、たくさんのご協力をいただき、有難うございました。まだ物資が届いていなかった時でしたので、感謝の言葉をたくさん戴きました。本当にありがとうございました。



自主申告 渡邊ヒロ子 君

漆原さんにご協力をいただき、ホテルブルーベリーヒルの宴会場をお借りして、5月1日(13時半~15時半)東日本大震災の義捐金活動として、チャリティコンサートを開催することになりました。もし当日お時間が許されれば、ぜひ応援いただきたい思います。宜しくお願いします。



自主申告 釜田英之 君

プロ野球が開幕になりました。スポーツの躍動感をもって、落ち込んでいる気持ちを少しでも奮い立ててもらえれば宜しいのではないかと思います。東北と千葉という試合で東北の2勝1敗という形で、誠にすばらしい天の配剤ではなかったかなと思っております。被災地のみなさんもそうなのですが、国民もスポーツの躍動感を見て、やる気になっていただきたいと思います。



**2011 - 2012 年度 会長エレクト研修セミナー報告書
会長エレクト 関 正己**

4月10日ホテルニューオータニ幕張にて2011-12年度会長エレクト研修セミナーが開催されました。本年度のテーマは、「心の中を見つめよう 博愛を広げるために」です。シンボルマークのイラストは、ハートを三十に広げた意味を持ちます。「自分自身を見つめ直す、そしてわけへだてなく平等に広く愛す」こと、そしてそれを実践していただきたいというのが、次年度RI会長カルヤン・バネルジー氏の願いだそうです。



会長エレクト研修セミナー挨拶の初めに尊敬する織田ガバナーの挨拶がありました。白鳥パストガバナーも非常に実直な純真な先輩で、凄く愛着の持てる方でしたが、織田ガバナーもやはり実直な方だと、ガバナー訪問の時から感じておりました。その織田氏の言葉に、「1年限りの会長職なのだから、何とか何事もなく無時過ぎてほしいと考えがちですが、問題の解決には果敢にチャレンジする1年であってほしいと願います。」今クラブにとって、時を待てば自然とクラブに力が漲ってくると楽観していただける環境にあるクラブはそう多くはありません。失敗したらまた元に戻せばよい、というくらいのスタンスで改善に着手してください。と淡々と、しかし説得力のある言葉が印象的でした

また、多くのクラブが

- 1) 会員減少により台所が火の車
- 2) クラブの高齢化が進み若い会員候補者が入会しづらい
- 3) 若い会員が入会したが例会出席率が下がり続けている
- 4) 新会員にきちんとしたオリエンテーションが行きかずせっかく入会した会員が退会してしまう。

等々すぐに対応策を考えなければならない問題を抱えています、と語っていました。また、研修リーダーの崎山征雄氏は、ロータリーで大事なことは、クラブ奉仕が力強くしっかり地中に根を張り、その上に職業奉仕の太い幹があり、その栄養が花となり実となったのが社会奉仕であり、国際奉仕であり、今年度から新たに加わった新世代奉仕です。大きな果実はクラブ奉仕の結果として表現されています。それ故に、クラブ奉仕と職業奉仕がロータリーの本質といわれてきたのです。

ロータリアンに最も大事なことは「善意と友情」「寛容の心」です。ポールハリスは語録の中で「一種類のハナ、一つの色ばかりの花壇になんの面白味があるう、いろいろあってこそ人生の葉味がきくものだ」とあります。いろいろな考えの人も、ロータリーの友人として上手にまとめることが会長の手腕でしょう。2790地区に84の大きな花を咲かせてください。と語っておりました。

また、CLPにも少し触れていました。ここ数年地区委員会編成がCLPを中心にして毎年変わってきています。ここで皆様が混乱しては困ります。「CLPは目的ではありません。ロータリー活性化の道具の一つなのです」と理解してください。CLPについて2008年1月のサンディエゴ国際協議会でレイ・ヒギンボサムのセミナー講演で強調されたのは、CLPとは「そのクラブ活動の継続性（3年継続の長期計画の策定）の確保と管理運営部門の効率化」で、クラブ活動の全員参加意識の向上により、クラブ内の奉仕ポテンシャルを高めることができるなら、その委員会はクラブの総数によってその形態を標準委員会方式を参考に様々な形式に設置できる。

「クラブの活性化がよりよく維持され拡大するなら、委員会は今までの委員会構成でもよい」と説明されました。また、山田修平ガバナーエレクトは「効果的なロータリー・クラブとなるための活動計画の指標」を7月1日までにガバナー補佐に提出するよう求められました。これには、クラブの長期計画を立案しクラブに継続性が生まれることを目的としています。

次年度の活動計画書に記載し、クラブの皆様にご覧いただきたくとの事でした。

RIのテーマを実践するために、3つの協調事項を掲げられました。第1の協調事項は「家族」、第2は「継続」、第3は「変化」だと、カルヤン・バネルジーRI会長エレクトの協調事項3に「変化」がありますが、従来の発想を変えたクラブ運営によって、「より強力な魅力あるクラブ」を目指してくださいとの事でした。

地区として10項目の重点目標が挙げられていますが、これについてはまたの機会にいたします。

話は変わりますが、これからが我が勝浦ロータリー・クラブの事です。織田ガバナーにありました「1年を可もなく不可もなく無事に過すか、果敢にチャレンジする1年を過ごす事」のどちらが良いかは申すまでもあり

ません。失敗しても良い、また元に戻せばよいというスタンスには大賛成です。その中で、まず取り組みたいのが先日会員の中から出た会員増強の障壁となっている会費の金額の高さです。かねてから2~3の会員の中からありました、敷居の高さを変えようと、次年度はこれを受け金額の敷居は低く、人格の敷居を高くすることに方向を変えようと考えています。

各委員長は例年、次年度活動計画書に記載する委員会活動経費を改め、金額でなく委員会開催予定回数を決めていただきたい。勿論、委員会の回数はその限りではありませんが、大枠の予算を決めたいと思います。副幹事から要望書が出されましたら、早急に提出されるようお願いいたします。今年度は情報委員長を筆頭に勝浦ロータリー・クラブの規約であります、細則の見直しがあります。そこまでに試算し理事会にも図りたいと考えています。

次年度の会費は可能な限り安くしたい、したがって小委員会に於いては、会からの援助を一律にするのが妥当かと考えています。これによって委員会にあまりお呼ばれない会員と頻りに委員会を開く会員との公平さと正当性を目指すことが目的です。近年の小委員会は少し過ぎた面があるように感じます。これらを粛清し、全会員がなるべく平等な受益者になれるよう、また会員勧誘の敷居を低くしようと思っています。ぜひ皆様のご協力をお願いいたします。

次年度は委員長に入会5年未満の方々を多く起用させていただきました。不慣れな点を各委員会の経験者はぜひ親切にご指導願いたいと思います。それがマンツーマンオリエンテーションにもつながると思いますので。経験豊かな諸先輩方の友情に満ちたバックアップを期待しています。

以上会長エレクトセミナー報告並びに次年度目標の一部をお伝えしました。

出席報告 4 / 15 (金) 出席委員会 (関祐介委員長)

会員	出席	MU	欠席	出席率
40名	27名	2名	11名	72.5%

欠席：浅野玄航・内田秀実・斎藤豊久・斎藤義典
高橋奈緒美・高山裕紹・古川範男・前田安彦
吉野裕子・渡辺保・渡邊昌俊